

内視鏡下鼻副鼻腔手術後に Aquacel[®] Ag Advantage を使用した症例について中鼻甲介の外側偏位による癒着が生じたかの検討

2021年9月8日から2022年3月30日の期間に日本医科大学多摩永山病院で慢性副鼻腔炎に対して内視鏡下鼻副鼻腔手術を施行後に Aquacel[®] Ag Advantage でパッキングを行った患者さま

研究協力をお願い

当科では「内視鏡下鼻副鼻腔手術後に Aquacel[®] Ag Advantage を使用した症例について中鼻甲介の外側偏位による癒着が生じたかの検討」という研究を行います。この研究は、2021年9月8日より2022年3月30日までに日本医科大学多摩永山病院耳鼻咽喉科にて、副鼻腔炎のために内視鏡下鼻副鼻腔手術を受けられた患者さまの自覚症状・鼻内所見・処置に要した時間を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：内視鏡下鼻副鼻腔手術後に Aquacel[®] Ag Advantage を使用した症例について中鼻甲介の外側偏位による癒着が生じたかの検討

研究予定期間：倫理委員会承認日～2024年6月30日

調査対象期間：2021年9月8日～2022年3月30日

研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 耳鼻咽喉科 佐藤一樹

(2) 研究の意義、目的について

内視鏡下鼻副鼻腔手術後の副鼻腔粘膜は傷ついております。止血と創傷治癒のために被覆材として Aquacel[®] Ag Advantage を入れます。Aquacel[®] Ag Advantage を使用し、その効果を検討することで患者の術後疼痛軽減および術後の副鼻腔炎の改善率の向上を目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2021年9月8日から2022年3月30日までに日本医科大学多摩永山病院耳鼻咽喉科で両側内視鏡下鼻副鼻腔手術を施行し、Aquacel[®] Ag Advantage をパッキング素材として使用した方が対象です。

情報：診断名、性別、年齢、CTスコア、喘息、好酸球%、総IgE、中鼻甲介の偏位による癒着スコア、Aquacel[®] Ag advantage の留置期間、パッキング抜去時の内視鏡所見と出血

Aquacel[®] Ag Advantage を用いることで粘膜の癒着が防止できるかを検討します。これらの情報は、当院耳鼻咽喉科へ提供されます。これらの情報は、提供する前に個人を特定できない形式に記号化した番号により管理を行って外部漏えいを防止します。収集された情報を用いて、研究グループがデータを解析し、創傷治癒などについての検討を行います。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

担当医師：耳鼻咽喉科 担当者名 佐藤一樹

日本医科大学多摩永山病院 倫理委員会事務局 〒206-8512 東京都多摩市永山1丁目7-1

電話番号：042-371-2111（代表） 内線：2302 メールアドレス：nagayama-chiken_center@nms.ac.jp